

批判続出・「大綱」閣議決定—書記局長・幹事 長会談(2/22)、野田首相が陳謝(2/23)

2月22日におこなわれた書記局長・幹事長会談では閣議決定(2月17日)された「社会保障・税一体改革大綱」に衆院議員比例定数80削減の法案提出が盛り込まれていることが大問題になりました。「各党協議会の進行中に、民主を除く各党から異論がある80削減を閣議決定するのはどういうことか。撤回すべき」(市田日本共産党書記局長)、「各党協議会の軽視、三権分立からも問題、国会の権威を壊す」(井上公明党幹事長)、「議会制民主主義が理解されている疑問」(石原自民党幹事長)、「議論を重ねてきた抜本改革をやる気があるのか」(園田たちあがれ日本幹事長)、「後ろからバットで殴るもの、けじめが必要」(荒井新党改革幹事長)など民主党に対する批判が相次ぎました。

また2月25日が衆院選挙区画定審議会の「勧告期限」として区割り作業を先行させようとした議論に対し、「現行制度の維持を前提にしたものであり、今の制度の抜本改革のための協議を続けるべき。現行制度が民意を歪めていることは民主党以外の各党が合意していることだ」(市田書記局長)などと指摘。

輿石民主党幹事長は「協議は続行する。その前提として閣議決定について何らか対処する」と答えました。

野田首相は23日の衆院予算委員会で「法案提出等立法府の在り方に深く踏み込んだ表現があることで国会の議論に迷惑をおかけしたことを遺憾に存じ深くおわび申し上げます」と陳謝しました。

衆院選挙制度に関する各党協議会(3/1)

「野田・谷垣『格差是正』一致」(2/29 党首討論)のもと、 野田首相らの「区割り先行」論を各党次つぎ批判

書記局長・幹事長会談後の最初の各党協議会が、3月1日開かれました。

野田首相と谷垣自民党総裁との「密談」(2月25日)が報じられ、2月29日の党首討論で二人の間で小選挙区での格差是正を先行させることで一致したことを背景におこなわれたこの日の協議会では、自民党の細田氏が「(区割り先行)の首相の発言は重い」と先行実施を求めました。これに対し、穀田日本共産党国対委員長は「区割り先行は現行制度を維持、固定化させ、次に出てくる議論は比例定数80削減となる。抜本改革の棚上げはだめ」と主張。公明党の東氏は「野田首相は23日に協議会を尊重するといいつつ党首討論では格差是正先行を言っている。どちらが本当か」と樽床座長(民主党)の立場を正し、各党からも民主党の立場が明確にされないと協議は進まないという批判が続出しました。

樽床氏は、民主党の考え方を整理し、次回 3 月 7 日の協議会で述べるとしました。

「衆院選挙制度の抜本改革をめざす議員連盟(略称・中選挙区制議連)」が総会

超党派の「衆院選挙制度の抜本改革をめざす議員連盟（略称・中選挙区制議連）」は、2 月 23 日第 2 回総会を開催しました。これには自民党、民主党、公明党、日本共産党、社民党、国民新党、たちあがれ日本、無所属などの議員 96 人が参加しました（この日までの加盟衆院議員は 152 人）。

渡部恒三代表世話人（民主）は「政治の混迷の理由は選挙制度、小選挙区制はまちが이었다」と述べ、加藤紘一代表世話人（自民）が経過報告しました。穀田恵二日本共産党国対委員長が「小選挙区制が民意を歪めるものであることは多くの党の合意。現行制度の抜本改革の機運を逃さず改革を実現させたい」と発言しました。

参加者からは、それぞれの立場で現行制度の問題点や小選挙区制を推進した政治家・学者・メディアを糾弾するなどの発言が繰り返されました。加藤氏は「200 人超の参加者めざし、各党協議会の議論に影響を」とまとめました。

全国各地の活動から

—草の根の行動を紹介します。情報・通信をお寄せください—

【新日本婦人の会中央本部「活動推進ファックスニュースNo.27（2 月 22 日号）」から】

「私はいいたい！」野田首相超おひざもとでパレード、野田事務所も訪問

新日本婦人の会千葉県本部

2 月 21 日、「野田首相にいいたい」とおひざもとパレードが取り組まれました。

船橋市薬円台駅前に集合すると地元の人たちもびっくり。駆け寄ってきた女性は「私も原発反対。渋谷のデモには行ったけど、こんなところでもやるんですね！」と感激してその場で「いいたい」に「脱原発！」と記入。地元の班のみなさんも事前に「ここでパレードしますよ」と声もかけていてくれ、「それはすごい」「私もいいたい」といっしょに歩く人やマンションの窓から手を振る人など共感の波！

パレードの終着地は、もちろん野田首相の地元事務所。厳重な警備の中、「いいたいカード」の特大シートなどをもち込んで要請しました。

パレードは、リズム小组で集めたカードや班カード、要求うちわに風船、タペストリーなど、思いが詰まった楽しい共感型パフォーマンスとなりました。参加者も「言いたいことを言ってスッキリしたー！」との感想がだされるほど超気持ちいい行動で、閉塞感も打ち破ったゾー。

（当日使用された「2・21 おひざもとラップ・パレード歌詞カード」には、「♪野田首相のおひざもと 私たちの声聞いて みんなの願いかなえてね どうぞお願いいたします♪」「消費税の増税 まったくとんでもありません これ以上は払えません 今でも生活ぎりぎりよ 消費税は今でも 社会保障に使ってない」「保育・年金・医療に介護 削らないで社会

保障 税金まじめに払っても サービスちっとも受けられない 医者に行くのがまんじ
ちゅう 一体税金なんのため 払っているかわからない「身を切るというなら 返して政
党助成金 比例定数減らしたら だれが国民の声聞くの」などのフレーズがあります。）

自由法曹団 各地で宣伝

全国一せい宣伝活動を取り組んだ自由法曹団は 2 月 6 日、新宿駅西口で本部、東京支部が
宣伝。

この日、青森、山形、宮城、福島でも労組や民主団体と共に宣伝に取り組みました。

また、福岡支部（2 月 8 日）、京都支部（9 日）など各地で街頭宣伝が展開されました。
京都市役所前の宣伝には 11 人の弁護士が参加、30 分の宣伝で「『課税府のノダ』リーフ」
を 250 人に配布、署名も訴えました。

革新懇がアクション

三重県革新懇は 2 月 12 日、津市内で「衆院比例定数削減問題を考える学習講演会」を開
催しました。講師は小松浩立命館大学教授。

革新岡山の会（平和・民主・革新をめざす岡山の会）は 2 月 16 日、岡山市内で氏平長親
事務局長を先頭に、「『課税府のノダ』リーフ」の配布と訴えを行いました。

奈良市革新懇は先の総会で、「衆議院の比例定数削減に反対し比例代表制度への抜本的改革
を求める決議」を採択しています。

各地の共同センターも

各地の憲法改悪反対共同センターも活動を強めています。

憲法と平和を守る広島共同センターは 2 月 22 日、広島市中区で街頭宣伝、「『課税府のノ
ダ』リーフ」の配布と署名に取り組みました。「けしからん政治家が多いから定数を削減する
というのは筋が違う。庶民の痛みが分からない国会議員は震災復興のボランティアに行けと
言いたい」と言って署名する人もいました。

憲法九条守れ！奈良県共同センター、原水爆禁止奈良県協議会、奈良市平和委員会は 2 月
9 日、近鉄なら駅前核兵器禁止署名と比例定数削減反対の宣伝を行い、佐藤真理弁護士ら
が訴えました。

奈良では、「衆議院比例定数削減阻止！奈良県連絡会」結成の準備が進められています。

青森で連続行動

「戦争はいやだ 憲法守れ！県民の会」は 15 日、青森市「さくら野」前で宣伝しました。
この行動には県労連、青商連、新婦人などから 8 人が参加、横断幕、のぼりをかかげ訴えま
した。これは 2 月 6 日の行動に続く第 2 弾の活動です。

和歌山でも

憲法 9 条を守る和歌山県民の会は 2 月 9 日、JR 和歌山駅前で宣伝・署名行動を取り組みま
した。